

令和5年度 学校評価実施報告書

学校名: 五常小
校長名: 藤 正文

黄色の箇所を入力して、提出してください。

1. 学校教育目標
【スローガン】 毎日楽しい学校 【めざす学校像】 児童が感動し、児童の期待に応える学校 【学校の使命】 児童が安心して楽しく通える安全な学校づくり 児童の確かな学力の育成、学力の向上

2. めざす子ども像
【教育目標】 よく学び 思いやりのある行動をする たくましい子 【今年度重点目標】 自ら学び、自他を尊重し、仲間と高めあえる子の育成

記入例を参考に、作成をお願いします

基本方針	重点項目	具体的な取組内容					
		本年度の重点的な取組(4月)	取組指標(誰が、何を、どのくらいの頻度で)	評価指標(目標)※具体的な数字を入れる	指標の結果	中間 分析(成果と課題)	改善策
確かな学力と自立の力を育む教育の充実	基礎学力の向上	新しい朝学習(オビタイム)の推進	毎朝15分のオビタイムにおいて、漢字前倒し及び反復学習・音読・百ます計算(毎日)	1月学年配当漢字テスト 平均正答率80%以上(3月90%) 保護者アンケート 学校は、基礎基本の定着に向けて取り組んでいる。90%以上		オビタイム 2~6年 7月に1回目終了計測テスト1回目 2~6年2回目と1年初回は12月初旬終了予定 音読は暗唱に移行、百ますはタイムが大幅に改善	
	自律的に学ぶ力の育成	五常小検定の創設	漢字、百ます計算、音読・暗唱のマスター認定制度の運用(2学期~)	段位獲得児童 のべ100名 児童アンケート 家で自分で計画を立てて学習している。70%以上		夏休みに熟語漢字練習 長期休暇熟語計測テスト1回目(9月) マスター検定は、各段位の認定基準を設定。11月から開始。有段者70名超	
豊かな心と健やかな体を育む教育の充実	いじめ不適切事案が起きにくい風土の醸成	ルールメイキングと主権者教育	総合の学習で6年生に主権者教育を行うとともに、児童と「学校安心ルール」を作ることで発達支持的生徒指導とするなど、いじめ不適切事案が起きにくい風土を作る。(通年)	児童アンケート 先生は自分たちの意見や考えを大切にしてくれる 90%以上 児童アンケート 落ち着いた雰囲気の中で授業を受けている 80%以上		児童アンケート 大切98% 落ち着く82%(◎) 研修課のルールメイキングプロジェクトに参加 順調に進み、11月24日に教育長出席全市公開授業を実施	
教職員の資質と指導力の向上	児童との時間を生み出す働き方改革の推進	超勤時間の管理 業務の精選 業務リスクの低減	教職員個別の時間外勤務時間を見える化する。教職員のボトムアップで細かい業務の精選と削減を行う。 学用品の購入のあり方を見直し省力化とリスク低減を実現する。	平均超勤時間の削減 昨対 1H/月・人		昨対6H/月減(◎) 学校徴収金の現金収受を廃止 働き方改革 ストレスチェックを成果指標に ①計画年休制度「私の大切な一日」、②学年チーム制、③給食指導交替で教員負担の軽減、④改革企画のボトムアップチームの発足	
学びのセーフティネットの構築	いじめの未然防止や早期対応の仕組みづくり	いじめ対策委員会含む組織の機能改善	いじめ対策委員会が機動的に機能するよう「基本方針」を改訂する。 いじめ発生時の聞き取り、記録、検討、対応、進捗確認を迅速かつスムーズに行うとともに、それが可能になるようフォーム等を改訂する。	児童アンケート 学校が楽しい 90%以上 先生は困った時にいつでも相談に乗ってくれる 90%以上		6月28日に「子どもたちの新しい居場所」を民間事業者が開設、登録者は他校含め4名(10月末)。昨年度からの不登校児が開所日に毎日登校している 同事業者により、「おしごとマルシェ」を校内で5回開催。毎回数百人が来場。(11月3日時点)	
	児童の居場所の確保	コミュニティスクールによる子どものための新たな居場所づくりプロジェクト	校内に不登校や学校・学級に入りづらい子どものための新たな居場所をつくるプロジェクトをコミュニティスクール(地域コミュニティ)の取り組みとして実施する。税を投入せず事業者と協力者によって自立・自律的かつ持続可能な運営を行う。(通年・毎日)	新たな不登校児童を2名以下に抑える。		10月21日より市の認可のもと「子ども食堂」を開設。 上記の運営費には、イベントの食事等の売上とともに、ふるさと納税企業版を活用予定。児童生徒支援課において不登校の居場所の公民連携募集を行い、市において「ふるさと納税」の受け皿として事業を構築し補正予算を編成してもらう予定。また、企業への営業には、政策企画課が同行予定。 今年度新たな不登校児童は発生していない。(◎)	
	非常変災時の危機管理	危機管理マニュアル・訓練の点検と改善	危機管理マニュアルを点検しガイドラインに沿って適宜見直すとともに、警察・消防等に指導を受けるなど各種非常時訓練を真に役立つ訓練に改善する。	保護者アンケート 非常変災時に備え、適切に安全教育を行っている。90%以上			
社会に開かれた学校づくりの推進	保護者ニーズを踏まえた学校経営	校長へ直接意見する仕組みの運用 重要案件への保護者の参画	校長へ直接意見を届ける仕組み等により保護者意見を汲み取って学校だより等で改善状況を報告する。 重要案件について保護者意見を踏まえて成案とする。(通年)	保護者アンケート 保護者ニーズを踏まえた学校経営を行っている。90%以上		成果:①保護者・地域住民によるボランティア清掃チームの発足 ②1,2年教室の着替え男女区分けするカーテンを設置 保護者アンケートは11月に実施予定 校長への意見提言は、計106件 毎月の学校だよりで意見等と回答を掲載し、学校の考え方を発信している。清掃チームと着替えカーテンは、保護者からの発案を実現したもの。	
	児童の居場所の確保	コミュニティスクールによる子どものための新たな居場所づくりプロジェクト	校内に不登校や学校・学級に入りづらい子どものための新たな居場所をつくるプロジェクトをコミュニティスクール(地域コミュニティ)の取り組みとして実施する。税を投入せず事業者と協力者によって自立・自律的かつ持続可能な運営を行う。(通年・毎日)	新たな不登校児童を2名以下に抑える。			
	学校情報を積極的に発信	学校情報を毎日積極的に発信する。	学校の経営方針、学校評価、ブログ、学校だより等で学校情報を毎日積極的に発信する。	ブログアクセス数 300件以上/稼業日(家庭数約360) 保護者アンケート 学校の様子がよくわかる。90%以上 保護者アンケート 学校の方針や教育の重点が明確である。90%以上 総アクセス数 44校中R4年度6位→R5年度内に4位をめざす		ブログ更新は、今年度1650回(9月末) アクセス329件/稼業日(◎) 総アクセス順位 44校中 4位を達成(○) 保護者アンケートは11月に実施予定	

学校関係者評価(学校運営協議会または学校評議員と保護者からなる学校関係者評価委員会による)年度末	
評価結果	改善に向けた支援策